



喜多の
丙申年

今年の干支は「申」です。この申ですが、元々は「しん」と読み、稲妻を描いたもので「電」の原字でもあります。中国の『漢書 律曆志』によればは、「申堅」とし、果実が成熟して固くなっていく状態を表しているとされています。

後世になって、干支を動物に当てはめた際に、覚えやすくする為に、申を動物の猿に当てはめた事から、申年は猿の年とされました。

神道においても猿は神獣とされており、全国の日吉神社、山王神社の総本社である、滋賀の日吉大社では猿がお使いの動物(神使)として慕われています。これは、日吉大社のご祭神の大山咋神が山の神である事から、山に住む猿が神使とみなされた事がそもその由縁です。そこから派生的に日吉大社の鎮座する比叡山が、京都市街の鬼門にあたる事から、神猿のチカラによって「災いが去る(サル)」という信仰が生まれ、そこから猿は災難除けの神獣としても慕われるようになりました。

この信仰は日本文化の中で今でも息づいており、現在の京都御所の北東角には猿の彫刻がある事から「猿が辻」と呼ばれ、鬼門除けの場所となっています。また当宮でも、御本社、御旅社ともに境内の北東角は角地にならないように作られており、これも一つ鬼門除けのサル信仰といえます。

また申はにんべんを付けると「伸」という字になり、今年一年が皆様にとられまして、災いのサル、伸びやかな年とされますよう、お祈り申し上げる次第です。

◎ 御旅社 玉垣奉納のお知らせ

当、網敷天神社御旅社は昭和五十九年に社殿をお建て替えしましてから、三十年が経過しました。その間の梅田の発展は、誠に眼を見張るものがあり、梅田の氏神さまの御神恩を感じずにはおられません。

しかしながら、三十年も経ますと、やはり老朽化致しまして、特に建物の周囲を囲っており玉垣がひび割れを起こし、ところどころ欠損するなど、大神さまのお目元でお見苦しい状態となっております。

この玉垣をきれいに整えたく思い、昨年より整備事業計画を検討し、本年、玉垣の付替を予定しております。これまでの玉垣とは違い、新しい玉垣には御影石を用い、ご奉納者の方のお名前を刻み入れ、美々しい玉垣として建立致したく考えております。

まさに氏神様のお目元で、「梅田に名を残す」貴重な機会でもございます。

今後、当宮の掲示等々で、ご案内を致してまいります。その節には何卒赤誠のご篤志を心よりお願い申し上げます。

(なお先着順の為、玉垣数には限りがございます)

厄年の御祈祷

当神社では厄年の厄除け祈祷を受け付けております。数え年の男性四十二才(昭和五十年生)、女性三十三才(昭和五九年生)の本厄の方と、その前後一年の年にあたる方は厄年にあたられます。当神社での御祈祷はご予約制ですので、事前にお電話等でご予約下さい。 ※厄年の年齢は数え年です。

男			女		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
平成 5年生(男) 2.4歳(小学)	平成 4年生(男) 2.5歳(小学)	平成 3年生(男) 2.6歳(小学)	平成 11年生(男) 1.9歳(小学)	平成 10年生(男) 2.0歳(小学)	平成 9年生(男) 2.1歳(小学)
昭和 51年生(男) 1.1歳(小学)	昭和 50年生(男) 1.2歳(小学)	昭和 49年生(男) 1.3歳(小学)	昭和 60年生(男) 2.3歳(小学)	昭和 59年生(男) 2.4歳(小学)	昭和 58年生(男) 2.5歳(小学)
昭和 32年生(男) 6.0歳(小学)	昭和 31年生(男) 6.1歳(小学)	昭和 30年生(男) 6.2歳(小学)	昭和 56年生(男) 3.6歳(小学)	昭和 55年生(男) 3.7歳(小学)	昭和 54年生(男) 3.8歳(小学)
			昭和 32年生(男) 6.0歳(小学)	昭和 31年生(男) 6.1歳(小学)	昭和 30年生(男) 6.2歳(小学)

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜(神主)
白江 秀 知

